

「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」における研修支援 に係る意見交換会—県ピアサポーター事業概要—

令和元年 8 月 22 日

疾 病 対 策 課

1 研修支援希望の主旨

今後、埼玉県がんピアサポーターの養成研修会を開催したいと検討しているため、その研修会の企画や準備に支援いただきたくご相談するものです。

2 県の現状

(1) 埼玉県がんピアサポーター

県が開催した養成研修会の受講を修了した方を登録し、活動いただいている。

平成 25 年度に 21 名を養成、平成 26 年度に 19 名を養成した。(計 40 名)

8 月末現在での登録人数は 19 名です。

(2) 活動内容

ピアサポート相談：埼玉県立がんセンターにおいて、週 3 回相談活動

埼玉医科大学国際医療センターにおいて、月 2 回相談活動

がんワンストップ相談：就労経験のあるサポーターが、がん経験者として月 2 回相談に従事。

他に、患者サロンでの活動や、講演会の講師等で活躍している。

(3) 養成研修会

平成 25 年度及び平成 26 年度に各 1 回ずつ開催した。

9：30～16：30（2 日間）、13：00～16：30（3 日間）

県がプログラムの検討や講師の調整をした。

平成 24 年度厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」のテキストや他県の開催内容等を参考にした。

(4) フォローアップ研修会

年に 3 回、外部講師を迎えて、登録のピアサポーターを対象に開催し、活動の振り返りや講義受講などにより、スキルアップを図っている。

(5) その他

埼玉県がん対策推進計画（平成 30 年度～令和 5 年度）において、ピアサポーターによる対応可能な相談支援センターを、現在の 2 拠点病院からすべての拠点病院（13 病院）を目標としている。

岩手県のがん患者に対するピア・サポートの取組状況

1 これまでの取組状況

- ・（平成 27 年度）患者会「ペイシェントアクティブびわの会」が、いきいき岩手支援財団の助成を受け「がんピア・サポーター養成講座」を開催（参加者 31 名）

日 時：（前期）平成 27 年 9 月 5～6 日 （後期）平成 28 年 2 月 20～21 日

場 所：県立中部病院講堂

対象者：①がん体験者や家族（遺族含む）

②自分の体験を生かし、仲間であるがん患者や家族を支援する意思のある方

内 容：がんの基礎知識、ロールプレイ

⇒ 養成されたピアサポーターが、県立中部病院（がん情報サロン「虹」）で月 4 回ボランティア活動を行っている。

- ・（平成 29 年度）「ピアサポーターフォローアップ講座」開催（総参加者数 114 名）

日 時：平成 29 年 ① 6 月 24 日 ② 7 月 15 日 ③ 8 月 11 日 ④ 9 月 23 日

⑤ 10 月 7 日 ⑥ 11 月 25 日

場 所：さくらホールまたは県立中部病院

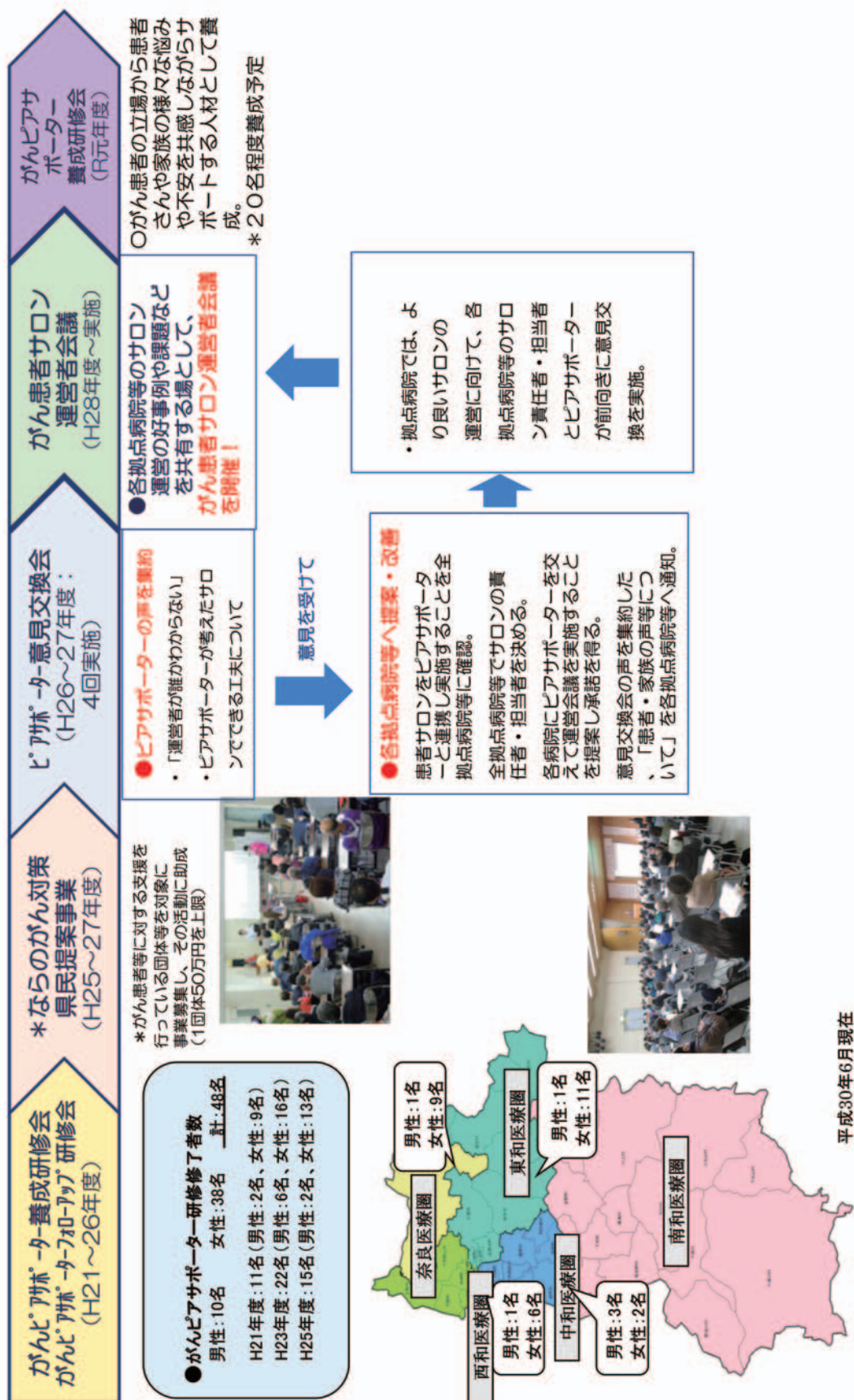
対象者：がんピア・サポーター養成講座修了者等

- ・（平成 30 年度）県が開催した「がん患者・家族会学習会・情報交換会」において、ピアサポート活動についての事例発表及びグループワークを実施

2 今後の取組予定

現在、国においてサポーター養成プログラムの改訂や、都道府県に対する支援の検討が進められていることから、その動きも踏まえ検討を進めていく。

がん患者サロン運営者会議の経緯・目的



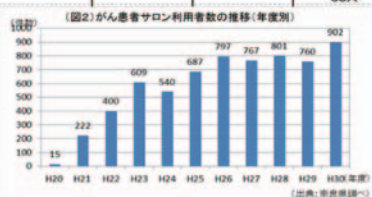
■がん患者サロンの経過

第3期奈良県がん対策推進計画 がん患者等への支援 (1) 相談支援及び情報提供

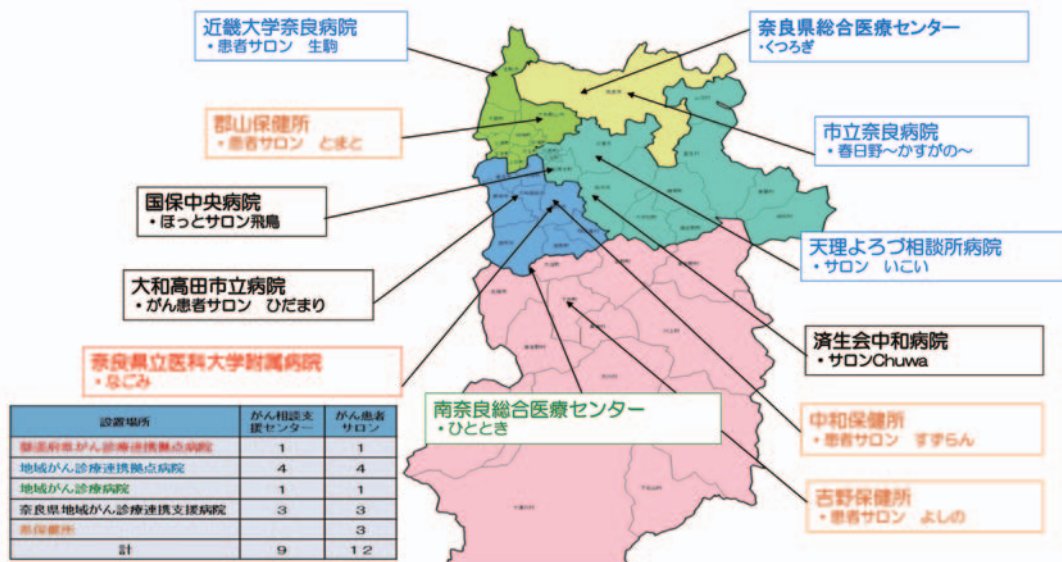
●めざす姿

すべてのがん患者やその家族が、不安、悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。

実施主体	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
国保中央病院	15人	156人	156人	156人	68人	87人	72人	53人	55人	47人	57人
奈良県総合医療センター		66人	73人	76人	61人	96人	209人	137人	105人	84人	101人
奈良県立医科大学附属病院			95人	166人	156人	166人	160人	133人	184人	174人	214人
天理よろづ相談所病院			76人	133人	85人	77人	60人	71人	85人	77人	98人
市立奈良病院				68人	68人	82人	111人	89人	111人	123人	178人
近畿大学医学部奈良病院					73人	113人	109人	104人	100人	64人	67人
済生会中和病院							12人	45人	21人	32人	54人
大和高田市立病院								49人	58人	74人	57人
奈良県総合医療センター									2人	32人	8人
吉野保健所				10人	43人	35人	32人	30人	26人	10人	18人
郡山保健所						32人	32人	28人	13人	16人	18人
中和保健所									16人	26人	27人
											31人



■がん相談支援センター・がん患者サロンの設置状況



◆平成25年度 奈良県がんピアサポーター養成研修カリキュラム

第1日 平成25年9月3日（火）

	時間	プログラム内容と目的	進行・担当
	10:00～ 10:30	研修プログラムオリエンテーション 【目的】この研修プログラムの目的、スケジュールについてのオリエンテーションや研修参加者の自己紹介を行います。	事務局
①	10:30～ 12:00	がん対策について 【目的】「がん対策基本法」成立の経緯等の国のがん対策と、「第2期奈良県がん対策推進計画」の策定等、奈良県におけるがん対策の現状について学びます。	県保健予防課 参事 石井 佳世 県健康づくり推進課 係長 森本 めぐみ
②	13:00～ 14:00 14:10～ 15:10 15:20～ 16:30	がんの基礎知識 【目的】日本人に多いがん（特に五大がん）に関する基礎知識（統計、原因、経過、診断及び治療方法などの概要）を学びます。	奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座 教授 長谷川正俊 先生

第2日 平成25年9月12日（木）

番号	時間	プログラム内容と目的	進行・担当
③	9:30～ 11:00	医療機関がピアサポーターに望むこと 【目的】ピアサポーターと共に患者相談を行うことになる医療機関（拠点病院等）が、ピアサポーターに対して期待する役割などについて学びます。	県立奈良病院 相談支援センター 看護主査 松原 操 氏
④	11:10～ 12:00	先輩ピアサポーターの活動報告 【目的】先輩ピアサポーターから、現在の活動状況とピアサポーターとしての心構えについて学びます。	がんピアサポーター
⑤	13:00～ 14:30	精神腫瘍学について 【目的】がん患者の心理的反応や心のケアについて学びます。	奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター長 四宮 敏章 先生
⑥	14:40～ 16:10	緩和ケアについて 【目的】緩和ケアの概念や緩和ケアの受け方、受ける時期について学びます。	国保中央病院 緩和ケア長 徳岡 泰紀 先生
⑦	16:15～ 17:00	緩和ケア病棟「飛鳥」の説明、見学	国保中央病院 看護部長 河野 弥生 氏

第3日 平成25年9月18日（水）

番号	時間	プログラム内容と目的	進行・担当
⑧	9:30～ 10:00	個人情報の取り扱いについて 【目的】ピアサポーターとして活動する場合、患者の個人情報に触れる機会も多々あるため、県で定めている個人情報保護に関する規定について学びます。	県総務課 主任主事 金山 真絵
⑨	10:00～ 11:00 11:00～ 12:00	より良いコミュニケーションのために	関西学院大学 人間福祉学部 准教授 梓川 一 先生
⑩	13:00～ 14:00 14:00～ 15:00 15:00～ 16:00	カウンセリングの実際 （講義～ロールプレイ）	
⑪	16:10～ 16:30	まとめ 【目的】研修会全体を振り返り、研修に対する要望、今後のピアサポート活動に生かしていきたいこと等について意見交換を行います。	事務局
	16:30～ 17:00	修了式	事務局

奈良県医療政策部保健予防課

鹿児島県のがん患者ピアサポーターの状況（令和元年9月20日時点）

1 現状

県ではこれまで、がん患者ピアサポーターの養成に関する事業はなく、令和元年度にNPO法人がんサポートかごしまと協働でピアサポーター養成を開始することとしている。

NPO法人がんサポートかごしまの取組として、平成23年度からピアサポーター養成講座を実施し、これまでに61名の方が講座を受講されている。

2 県内の状況

病院の種類	病院数	患者サロン
都道府県がん診療連携拠点病院	1	1
地域がん診療連携拠点病院	4	4
特定領域がん診療連携拠点病院	1	1
地域がん診療病院	6	6
県がん診療指定病院	13	3

3 課題

- ・ ピアサポーターとして活動している人が少ない。
- ・ NPO法人がんサポートかごしまの取組でピアサポーターの養成をしているが鹿児島市での開催に留まっている。
- ・ 継続したピアサポーターの養成が必要。

令和元年度がん患者ピアサポーター養成の事業について（令和元年9月20日時点）

（NPO 共生協働かごしま推進事業）

1 概要

（1）目的・必要性

がん患者ピアサポーター養成講座及びがん患者が集う「がん患者サロン」における実地研修により新たなピアサポーターを養成するとともに、NPO法人がんサポートかごしまによる「がん患者サロン」へのピアサポーターの派遣体制の整備により、がん患者とその家族を支援する。

（2）事業内容

- ① 鹿児島県内3か所において、各地域の医療機関や行政と協働し「ピアサポーター養成講座」を実施
- ② 養成されたピアサポーターを対象に、がん患者サロンにて実地研修を実施
- ③ そのサロンへピアサポーターを派遣する体制を整える。

（3）事業計画

- ① 県民健康プラザ鹿屋医療センター（地域がん診療病院）
研修会：令和元年9月27日（金）

実地研修：令和元年 11 月 28 日（木）、12 月 19 日（木）

② 県立大島病院（地域がん診療病院）

研修会：令和元年 10 月 30 日（水）

実地研修：令和 2 年 1 月 10 日（金）、2 月 14 日（金）

③ 済生会川内病院（地域がん診療連携拠点病院）

研修会：令和元年 11 月 24 日（日）

実地研修：令和 2 年 1 月 25 日（土）、2 月 22 日（土）

(4) 研修プログラム

- ① がん治療についての基礎知識
- ② ピアサポーターの役割について
- ③ ピアサポーターとしてのコミュニケーションスキル
- ④ がん患者サロンでの取組みについて
- ⑤ ロールプレイ（起こりうる事例と対応方法について）

2 委託先

NPO 法人がんサポートかごしま

3 事業費

1,999 千円（県 10/10）

4 相談したい内容

- ・ 研修資材の提供、使い方
- ・ 参加者募集の方法（他県での事例等）
- ・ 継続的なピアサポーターの派遣に向けた病院との調整、協働体制の作り方
- ・ ピアサポーター養成後の登録更新制度、養成後の取組の事例
- ・ フォローアップ研修の時期
- ・ 患者サロン以外にピアサポーターの活躍の場

長崎県のがんの医療圏の概要

位 置：九州の西北部に位置し、離島、半島が多い

人 口：約 132.6 万千人（本土地域 約 121.8 万人 離島地域 約 10.8 万人）

令和元年 9 月 1 日現在

医療施設：長崎市、佐世保市に大規模病院が集中し、離島地域は、長崎県病院企業団

（※ 1）の病院ががん医療の中核を担っている。

※ 1 長崎県病院企業団：県と島原地域、五島地域、対馬地域及び壱岐地域の市町が一体となって病院を経営することにより、県民の健康な生活を確保することを目的として設立された地方自治法上の特別地方公共団体（一部事務組合）。

本県の二次医療圏は、本土地域に 4 か所、離島地域に 4 か所、計 8 か所です。現在、本土地域の二次医療圏の 6 病院が、がん診療連携拠点病院（以下、「拠点病院」という。）の指定を受けています。（1 病院 → 都道府県拠点病院、5 病院 → 地域拠点病院、計 6 病院）

○拠点病院の整備状況

〔都道府県拠点病院〕（長崎医療圏）長崎大学病院

〔地域拠点病院〕（長崎医療圏）長崎みなとメディカルセンター、

日本赤十字社 長崎原爆病院

（佐世保県北医療圏）佐世保市総合医療センター

（県央医療圏）長崎医療センター

（県南医療圏）長崎県島原病院

本土 2 つの 2 次医療圏には、拠点病院の指定は受けていないものの、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（以下、「整備指針」という。）の要件をほぼ満たす 2 病院があり、長崎県独自でがん診療連携推進病院（以下、「推進病院」という。）に指定しています。

○推進病院の整備状況

（佐世保県北医療圏）佐世保中央病院

（県央医療圏）諫早総合病院

さらに 4 つの離島医療圏には、県がん対策推進計画において、各離島の 2 次医療圏につき 1 病院を「がん診療離島中核病院」（以下、「離島中核病院」という。）として位置づけ、本土地域の拠点病院、推進病院と連携し、離島地域のがん診療の質の向上に努めています。

○離島中核病院の整備状況

（五島医療圏）長崎県五島中央病院

（上五島医療圏）長崎県上五島病院

（壱岐医療圏）長崎県壱岐病院

（対馬医療圏）長崎県対馬病院

また、長崎県がん診療連携協議会を設置し、県内のがん診療に関する情報収集・発信、院内がん登録等のデータ分析・評価、県レベル研修会の企画・実施、地域連携クリティカルパスの推進等、県内のがん診療全般について協議しています。長崎大学病院に設置し、全拠点病院、推進病院が参加しています。

さらに、地域におけるがん診療に関する研修会の計画・実施、地域の医療機関や介護施設等との連携等により、地域全体のがん医療水準の向上を図ることを目的に、空白の医療圏域を含めた「地域がん診療連携協議会」を設置しています。

○地域がん診療連携協議会

長崎地域……………長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院

佐世保県北地域……佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院

県央地域……………長崎医療センター、諫早総合病院

県南地域……………長崎県島原病院

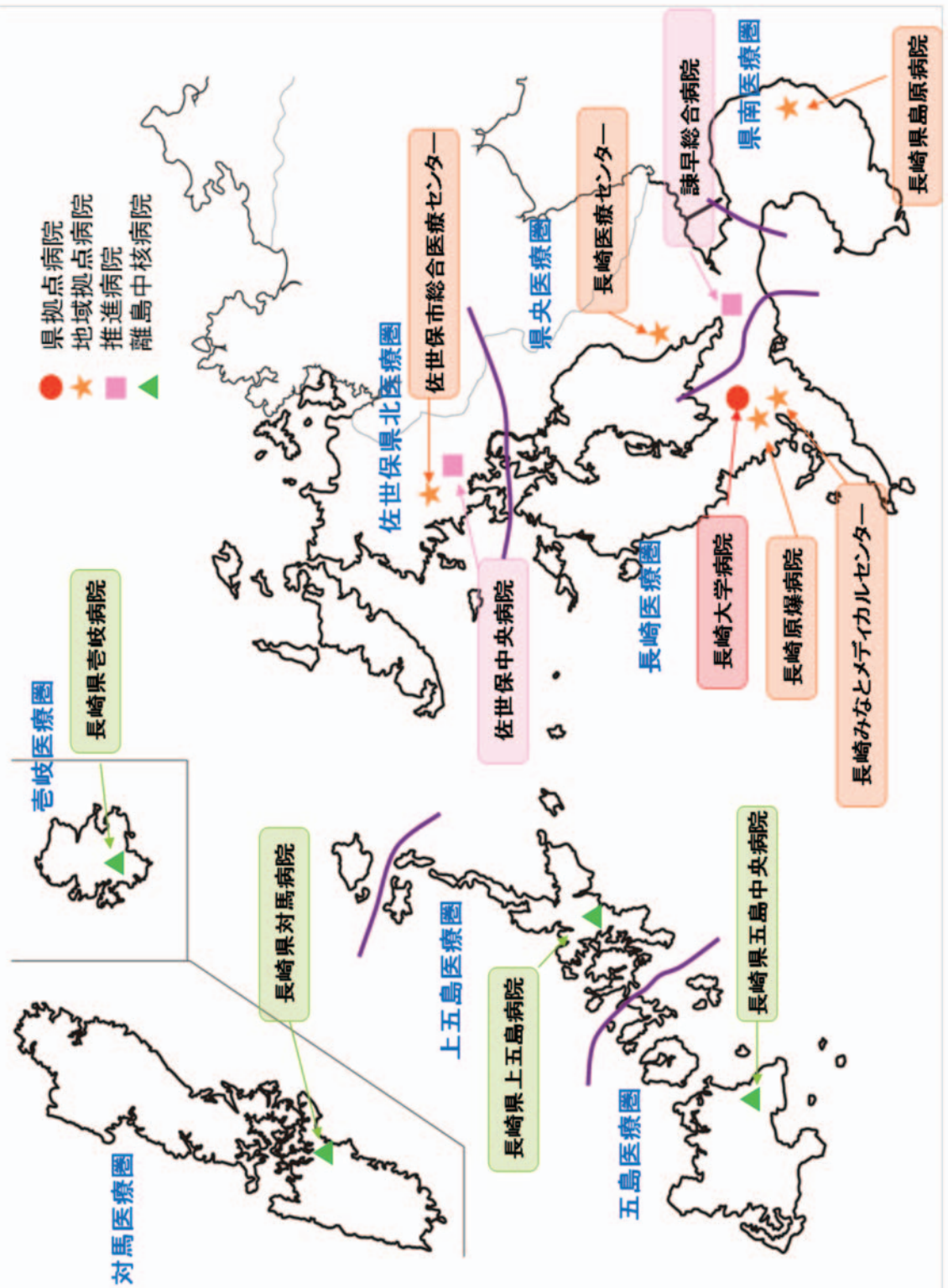
五島・上五島地域…長崎みなとメディカルセンター、日本赤十字社 長崎原爆病院

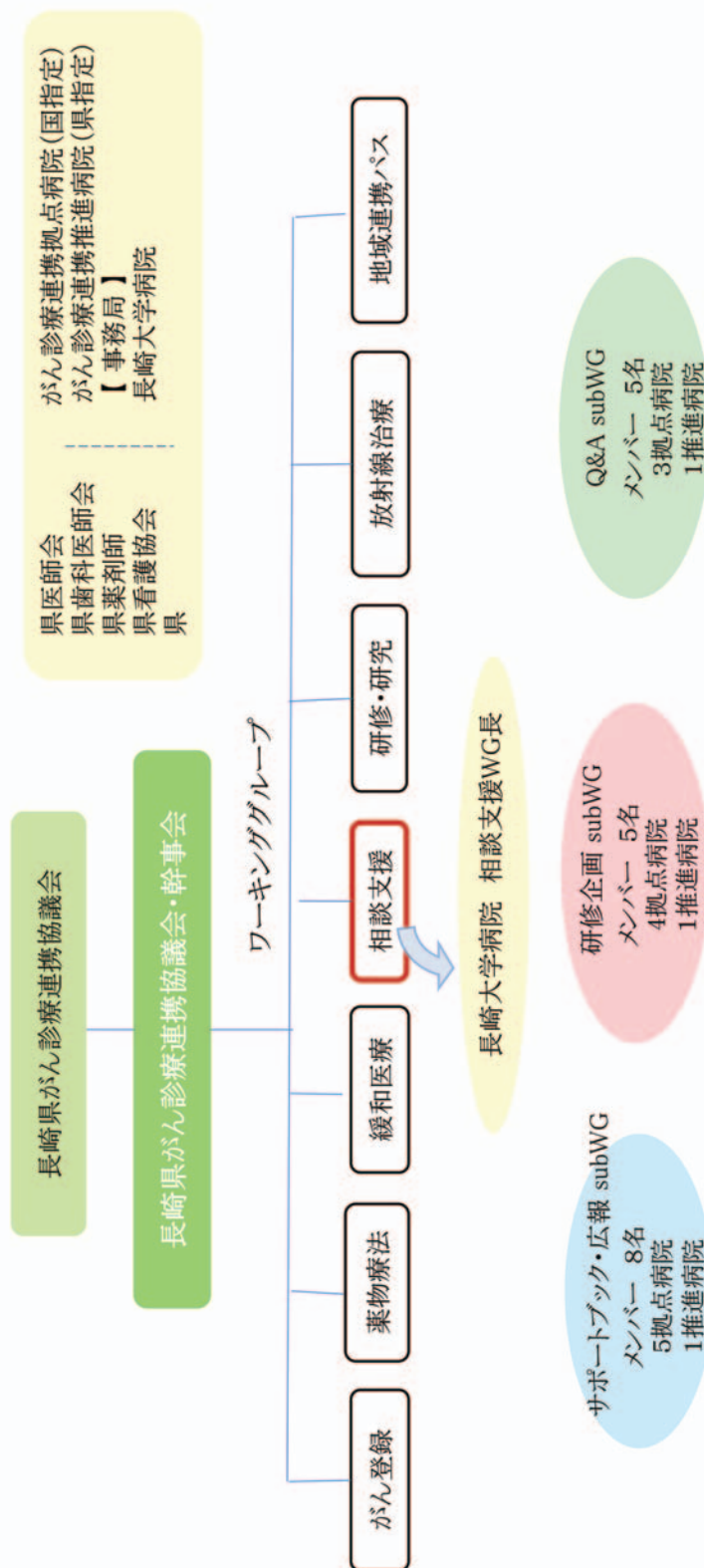
長崎県五島中央病院と長崎県上五島病院との共同運営

壱岐・対馬地域……長崎医療センター

長崎県対馬病院、長崎県壱岐病院と共同運営

長崎県の二次医療圏域とがん診療連携拠点病院





■情報共有・活動実績

- ・2007年11月、メーリングリストを立ち上げ、情報共有・交換開始
- ・相談支援部門実務者会議を開催。協力体制等について検討(年1回)
- ・相談支援ワーキンググループ研修会開催(年2回)
- ・あじさいネットを利用したTV会議(年4回)

■連携内容

- ・実務者会議、研修会等による相談員間に顔の見える関係を構築
- ・相談支援WGにサブWGを編成。活動の活発化、相互連携・協力体制の強化を図る
- ・就労支援については、各病院とハローワークの連携が図れるよう基幹HWと事務局(大学)が協力し、就労ナビゲーター未配置地区のセンターでも就労支援が実施できる連携体制を構築
- ・ゲノム医療については事務局が問い合わせ窓口となり、他の拠点病院、推進病院との連携体制を構築中

熊本県における ピアサポート支援の現状

令和元年11月5日
熊本県 がん相談員サポートセンター

がん診療連携拠点病院(18拠点病院)

- ・自施設でのがんサロンの支援(18/18)
運営等(18/18)、がんサロンファシリテーター(7/18)
- ・がんサロンネットワーク熊本 連絡担当者(17/18)
- ・がんピアおしゃべり相談室の支援(3/18)
ピア対応困難なときの対応、ピアレビュー
- ・がんピアサポートセミナーファシリテーター(7/18)
- ・地域がんサロンの支援(2/18)

熊本市 がん相談ホットライン

- ・日時:毎週月・木曜日
9:30~12:00 13:00~15:30
- ・場所:熊本市医療政策課
- ・対応:電話、面接
- ・専門相談員:がん経験者(1名)
(嘱託職員)

熊本県がん相談員サポートセンター(H27年~)

- ・がん専門相談員との連携と活動支援
- ・がん相談支援センターの広報・周知活動
- ・がんサロンの活動支援
- ・がんピアサポートの活動支援

がんサロンの活動支援

がんサロンネットワーク熊本（県内がんサロン30ヶ所）

※がん患者会「ひまわり」は入っていない

- ・会員の入会手続き、メール配信等の事務的支援
- ・理事会（1回／月）
- ・新しいがんサロン、世話人が不在のサロン、拠点病院からの支援がないがんサロンなどを訪問し運営上の問題点把握
- ・新規がんサロン立ち上げの支援
- ・外部からの依頼への対応（新聞等の取材、講師の依頼など）
- ・手記集「みんなの手記集 がんとともに生きる」作成・配布の支援
- ・広報活動（イベント、熊本県がん相談支援センターHP）

がんピアおしゃべり相談室の活動支援

- ・ピアサポーターの派遣計画
- ・旅費・謝金手続き
- ・ピアレビュー（1回／月）
- ・勉強会／フォローアップ研修
- ・広報活動
（イベント・ホームページ）



【実施施設】

熊本赤十字病院（毎週水・金曜日）
熊本医療センター（毎月第1・2火曜日）
熊本大学病院（毎月第3木曜日）

【体制】

ピアサポーター6名
2名で相談者1名に対応

がんピアサポートの活動支援

- ・がんピアおしゃべり相談室の支援
- ・がんピアサポートセミナーの実施

熊本のピアサポーター①

◆がんサロンの世話人（代表世話人・副代表世話人） 39名

- ・世話人不在（3サロン／31サロン）
- ・世話人辞めたいが後継者がいない（4サロン？／31サロン）
- ・世話人になるための明確な要件は定まっている
- ・院内サロンの場合… 医療者からの推薦 必ずしもピアサポートセミナーを受けているわけではない
（← ピアサポートセミナー受講を勧める テキスト DVD を送す）
サロンのファシリテーターが医療者（8サロン／31サロン）

【問題点】

世話人の人選が難しい 世話人のスキルのばらつき

熊本のピアサポーター②

◆がんピアおしゃべり相談室

ピアサポーター(ピアカウンセラー) 6名(うち世話人5名)

- ・ピアサポーターになるための要件が定まっている
- ・月に一度のピアレビューを行っている
- ・より高度なスキルが求められている
- 「これでいいのかわからない不安なときがある。スキルアップがしたい。」
- 「モヤモヤがとれないときがある。ピアでないかわかってもらえないと思う。」

【問題点】

ピアのスーパーバイザーとなる人がいない
スキルにあったフォローアップが必要

がんピアおしゃべり相談室 ピアサポーター選定基準

- (1) がん経験者またはその家族
 - (2) がんサロン等の運営、運営支援を行っている者、または十分な連携が期待できる者
 - (3) 県主催のがんピアサポーターセミナーを受講した者
 - (4) または県が指定するテキスト等を習熟した者
- ※ 推薦後、県が習熟度を面接にて把握する。
- (4) 以下の事項を順守できる資質を有する者
 - ① 相手の話に耳を傾けること
 - ② 自分の意見を押しつけないこと
 - ③ 質問誘導しないこと
 - ④ 個人情報を守ること
 - ⑤ 診断や治療方針に関するアドバイスは行わないこと
 - ⑥ 自分の名前、「がん経験者相談員」であることをはっきり伝えること
 - ⑦ 相手に失礼にならない態度、服装を心がけること
 - ⑧ 話の途中でがん相談員やその他の医療従事者の支援が必要な場合には速やかに引き継ぐこと

がんピアおしゃべり相談室 ピアサポーターになるまでの流れ

- ① 候補者に連絡
- ② ④～⑤を経ての本人の意思と、県と関係者(協力病院 担当者など)の話し合いで正式に決まることを説明
- ③ ミーティング(ピアレビュー)への参加
- ④ がんピアおしゃべり相談室への同席
- ⑤ ④が終わることに意思の再確認と不安や問題点を尋ね、次の同席の日精進調整を行う。また、進捗状況をミーティングで共有し意見を聞く
- ⑥ 県との面談
- ⑦ ピアサポーターとして採用
- ⑧ 事務的な手続き
- ⑨ ピアサポーター勉強会
- ⑩ ピアカウンセラーの心得、ピアカウンセラーの基本的なマナーと「報連相」

がんピアおしゃべり相談室のピアサポーターへ

H27年度～R01年度ピアサポートセミナー参加者

年度	実施日	セミナー名	参加人数	備考
H27	2月26日	がんピアサポートセミナー-基礎編	59	
	3月13日	がんピアサポートセミナー-実践編	74	133
	3月13日	がんピアサポートセミナー-実践編	63	
H28	3月12日	がんピアサポートセミナー-基礎編	45	108
	9月28日	がんピアサポートフォローアップ研修(※1)	18	
H29	2月11日	H29知ってほしいがんサロンのこと(※2)	129	147
	9月8日	H30知ってほしいがんサロンのこと	122	
H30	3月10日	がんピアサポート基礎セミナー(※3)	49	171
	10月19日	がんピアサポートセミナー-知ってほしいがんサロンのこと/みんなで話そう会	106	
R01	3月8日	がんピアサポートセミナー(予定)		

H29年度以降の変更点

- 【H29】
 (※1) フォローアップ研修開催
 ・ピアサポーターが悩んでいた
 〈対象者〉がんサロンの世話人
 がんピアおしゃべり相談室ピアサポーター
 がんサロンに携わる医療者
 (※2) 「知ってほしいがんサロンのこと」を始める
 ・がんサロンの参加者が増えない
 ・ピアサポーターになるためには、まずがんサロンに
 来てもらわなければならない
 〈対象者〉どなたでも
- 【H30】
 (※3) がんピアサポートセミナー-基礎セミナー開催
 ・ピアサポートを始めた方、経験の少ない世話人
 〈対象者〉がんサロンの参加者と医療者
 ⇒ピアサポーターでない(9名)
 経験の少ない世話人(4名)

平成27年度ピアサポートセミナー

【1日目】

がんピアサポート基礎セミナー

日時：平成28年2月28日(日) 13時～16時
 場所：熊本大学医学部附属病院 山崎記念館1階 研修ホール

<プログラム>

- 1 主催者あいさつ
- 2 がんに関する基礎知識
～がん細胞の特徴とがん治療の最新動向～
熊本大学病院 医学部がん診療センター 後々木浩一郎 先生
- 3 ピアサポーターが知っておくべき用語
海野病院 医療福祉課 課長 藤田智子 先生
- 4 ピアサポートについて
千瀬がんセンター がん相談支援センター 野田真由美 先生
- 5 県がんサロンの紹介

最後にアンケート記入のご協力をお願いします。

【2日目】

がんピアサポート実践セミナー

日時：平成28年3月13日(日) 10時～16時
 場所：熊本大学医学部附属病院 山崎記念館1階 研修ホール

<プログラム>

- 1 主催者あいさつ
- 2 がんサロンの運行の基本的な仕組み
～がん相談支援センターの役割とピアカウンセラーの役割～
熊本市中央病院 ピアカウンセラー・ナース 上原 弘美 先生
- 3 講演「暮らしとがん相談支援センターの役割を通して」
浄土真宗本願寺派熊本市 住持 長瀬 昌博 先生
- 4 がん経験者相談員の活動紹介
- 5 ピアカウンセラーのストレスマネジメント
熊本赤十字病院 診療支援課 相談支援士 永田 智子 先生

最後にアンケート記入のご協力をお願いします。

平成 28 年度 ピアサポートセミナー

【1回目】

がんピアサポート基礎セミナー

日時：平成29年3月5日（日） 10時45分～16時
場所：熊本大学医学部附属病院 山崎記念館1階 研修ホール

<プログラム>

- 1 主催者あいさつ
- 2 「がん」に慣れるお話し
国立がん研究センター 健康増進部長 堀 誠雄 先生
(昼休み)
- 3 「聞くことについて」
バスターアクトケア創成推進委員
イェススの聖心病院 臨床カウンセラー 加藤 理人 先生
- 4 「ピアサポートとは何か」～ピアサポートの意義を知る～
手塚がんセンター がん相談支援センター がん相談 野田 真由美 先生

最後にアンケート記入の機会を設けたいと思います。

【2回目】

がんピアサポート実践セミナー

日時：平成29年3月12日（日） 10時45分～16時
場所：熊本大学医学部附属病院 山崎記念館1階 研修ホール

<プログラム>

- 1 主催者あいさつ
- 2 がん患者サロンを運営する上で注意すること
NPO 法人がんサポートかこし屋 理事長 三好 綾 先生
(昼休み)
- 3 ワークショップもーるんプレイ
ピアサポート実践～がんサロンでのファシリテーション～
手塚がんセンター がん相談支援センター がん相談 野田真由美 先生
- 4 いのちがとら～がん患者の心の伝え方～
NPO 法人いのちをつなぐ会 代表理事
がんサロンネットワーク 副代表 高橋 伸一 先生

最後にアンケート記入の機会を設けたいと思います。

平成 30 年度 ピアサポートセミナー

【1回目】

【2回目】

平成 29 年度 ピアサポートセミナー

【1回目】

がんピアサポートフォローアップ研修

平成29年9月28日(木) 11時～15時(10時半～昼付)
講師 NPO法人支援会「J」理事長 野田 真由美 先生

<プログラム>

時間	内容
11:00	○開会あいさつ ○オリエンテーション
11:05	○昼食 (12:00)
11:30	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:00	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:05	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:10	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:15	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:20	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:25	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:30	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:35	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:40	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:45	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:50	○ピアサポーターの役割 (10分)
12:55	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:00	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:05	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:10	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:15	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:20	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:25	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:30	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:35	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:40	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:45	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:50	○ピアサポーターの役割 (10分)
13:55	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:00	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:05	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:10	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:15	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:20	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:25	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:30	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:35	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:40	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:45	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:50	○ピアサポーターの役割 (10分)
14:55	○ピアサポーターの役割 (10分)
15:00	○ピアサポーターの役割 (10分)

【2回目】

がんピアサポートセミナー 【令和元年度 1回目】

◆知って欲しいがんサロンのこと

対象者：がん患者・家族・がんサロンに関心がある方

講演：患者の意思決定に関する事

がんサロン紹介

◆みんなで話そう会

がん種別サロン

熊本県内にあるがんサロン・患者会など

R01年11月現在

	がんサロンネットワーク熊本への加入	サロン名	設立年月	開催場所		活動内容	世話人 (ピアサポーター) 有:○、無:×
1	○	熊本がんサロン	H22年4月	熊本大学病院	国指定拠点	おしゃべり会	○
2	○	済生会がんサロン なでしこ	H23年2月	済生会熊本病院	国指定拠点	数回レクチャー・イベント /おしゃべり会	×
3	○	長嶺がんサロン CROSS(クロス)	H23年1月	熊本赤十字病院	国指定拠点	おしゃべり会/医師参加	○
4	○	二の丸がんサロン	H23年4月	国立病院機構熊本医療センター	国指定拠点	毎月レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
5	○	荒尾がんサロン ひまわり	H24年7月	荒尾市民病院	国指定拠点	数回イベント/おしゃべり会	○
6	○	八代がんサロン 秋桜cosmos	H22年11月	熊本労災病院	国指定拠点	数回レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
7	○	くま川がんサロン	H22年12月	人吉医療センター	国指定拠点	毎月レクチャー・イベント /おしゃべり会	×
8	○	森都がんサロン ほほえみ	H23年9月	くまもと森都総合病院	県指定拠点	おしゃべり会	○
9	○	がんサロン よかとこネット	H21年4月	熊本地域医療センター	県指定拠点	毎月レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
10	○	くまちゅうがんサロン クローバー	H23年3月	熊本中央病院	県指定拠点	毎月レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
11	○	大江がんサロン みどり	H24年1月	大腸肛門病センター高野病院	県指定拠点	毎月レクチャー/ おしゃべり会/ミニライブ	○
12	○	宇城がんサロン 〜ほっとカフェ〜	H25年2月	熊本南病院	県指定拠点	おしゃべり会	○
13	○	山鹿がんサロン	H23年7月	山鹿市民医療センター	県指定拠点	おしゃべり会	○
14	○	がんサロン再春	H24年4月	熊本再春医療センター	県指定拠点	おしゃべり会	○
15	○	がんサロン 未来へ	H25年4月	国保水俣市立総合医療センター	県指定拠点	数回レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
16	○	がんサロン天草 たんぼの会	H24年1月	天草中央総合病院	県指定拠点	数回レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
17	○	がんサロン ふらっと	H28年9月	天草地域医療センター	県指定拠点	毎月レクチャー/おしゃべり会	○
18	—	がん患者会 ひまわり	H22年12月	熊本総合病院	県指定拠点	毎回レクチャー/おしゃべり会	×
19	○	熊本市市民病院がんサロン もくせい	H23年1月	熊本市市民病院	非拠点	数回イベント/おしゃべり会	○
20	○	有明がんサロン 樹の家	H23年6月	西原クリニック 複合介護施設 風の杜 ふれあいホール	非拠点	おしゃべり会/医師参加	○
21	○	こうしがんサロン かすみそう	H29年10月	合志第一病院	非拠点	毎月レクチャー/おしゃべり会	○
22	○	上天草がんサロン アケアマリン	H23年4月	上天草総合病院	非拠点	数回イベント/おしゃべり会	○
23	○	阿蘇がんサロン 笑がお	H30年4月	阿蘇医療センター	非拠点	毎月レクチャー/おしゃべり会	○
24	○	働き&子育て世代のための がんサロン	H24年4月	ウェルバルくまもと	行政機関	おしゃべり会	○
25	○	なんかんとはば会	H28年10月	南関町交流センター	行政機関	おしゃべり会	○
26	○	みふねがんサロン いきいき茶論	H23年8月	御船町保健センター	行政機関	毎月レクチャー・イベント /おしゃべり会	○
27	○	グリーフケアサロン熊本	H26年1月	ウェルバルくまもと	行政機関	おしゃべり会	○
28	○	金峰山がんサロン できたしこぼちこぼちよう楽遊彩	H22年11月	熊本市西区	個人宅	おしゃべり会	○
29	○	出水南がんサロン	H24年7月	熊本市中央区	個人宅	おしゃべり会	○
30	○	菊池がんサロン しいの木	H23年1月	菊池市七城町	個人宅	数回イベント/おしゃべり会	○
31	○	血液疾患患者と家族晴れの会	H18年5月	玉名市宮原	個人宅	おしゃべり会	○
32	○	産山がんサロン		休止中			

日本サイコオンコロジー学会 ピアサポーター養成にかかるヒアリング

日時：2019年12月3日 13:00～15:00

場所：島根大学医学部附属病院 外来診療棟3階 ほっとサロン

○ピアサポーター養成研修

第1回 平成24年度 島根県立大学に委託

第2回 平成25年度 //

第3回 平成28年度 島根大学がん患者・家族サポートセンターにて実施

・市民講演会・説明会

講演「ピアサポートの意義」（講師：NPO法人ミーネットより）

取組み報告

ピアサポーターリレートーク

・第1回研修 講義「ピアサポーターの意義」「がんと言われたら」「看護師の活動」
「がん相談支援センター紹介」

・第2回研修 講義「ピアサポーターに知って欲しい情報」「コミュニケーション」
グループワーク「聴いてもらう体験、聴く体験をする」
ロールプレイ

・実習「ピアサポーター相談会に参加しよう」

○フォローアップ研修

・平成26年度

相談者アンケート結果報告

講義と演習（講師：NPO法人ミーネットより2名のスーパーバイザー）

「心構え」「実際の事例より」「ロールプレイ」

・平成27年度

講義：がん治療の進歩（市民公開講座DVD視聴）

相談会経過報告・意見交換会

講義と演習 「質の高いピアサポーターを目指して」ロールプレイ

・平成28年度 ※養成研修と兼ねる

・平成29年度

講義：「プレジジョン・メディシン」「看護師の活動」「コミュニケーション」

ロールプレイ

・平成30年度（企画からピアサポーターが参加）

講義「第3期島根県がん対策推進計画の概要」

「ピアサポーターに必要な基礎知識」「コミュニケーション」

ロールプレイ

意見交換会

・令和元年度

講義：「しまねのがん対策推進計画について」

「自分も、相手も、大切にするために」

「コミュニケーション」

ロールプレイ

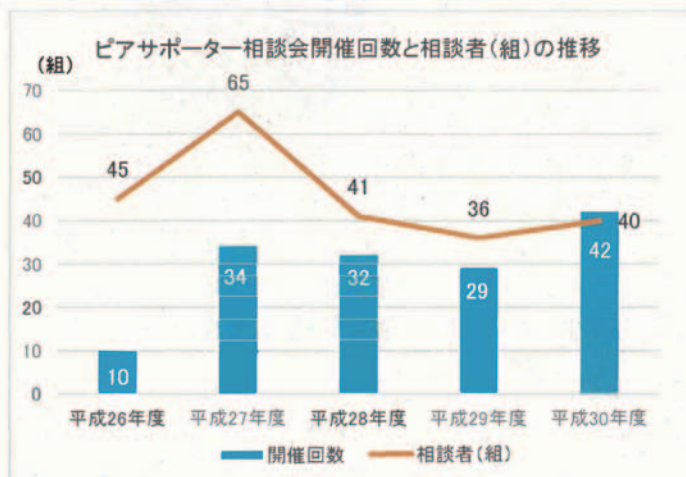
グループワーク：「ピアサポート活動での困り毎」

平成 30 年度島根県がんピアサポーター相談会開催状況報告

島根大学医学部附属病院

がん患者・家族サポートセンター

1. がんピアサポーター相談会 開催状況



*平成 30 年度 年間 42 回開催のうち 相談者あり・・ 19 回
相談者なし・・ 23 回

〈 がんピアサポーター数 〉

25 名 (東部 17 名 西部 8 名)

〈 開催病院数 〉

- ・がん診療連携拠点病院 5 病院
- ・がん診療連携推進病院 1 病院
- ・がん情報提供促進病院 4 病院

〈 開催時間 〉

- ・午前又は午後開催 いずれも 2 時間程度

〈 開催場所 〉

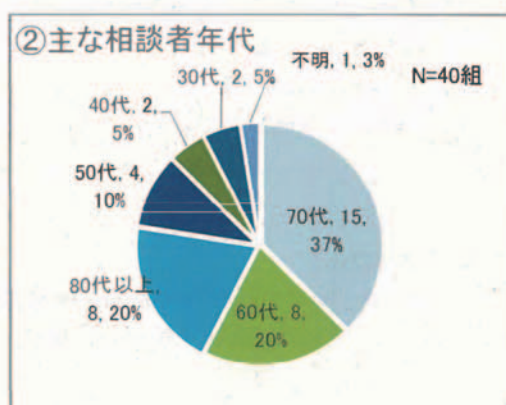
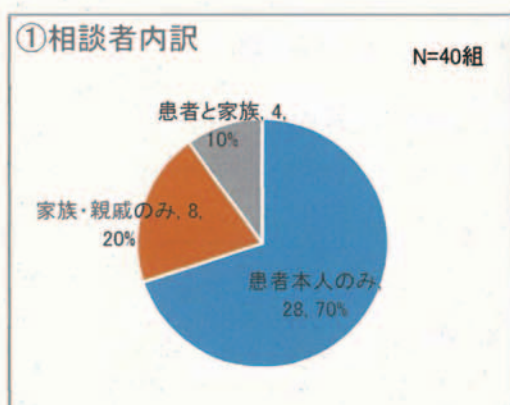
- ・玄関ホール ・院内相談室
- ・病院講堂など

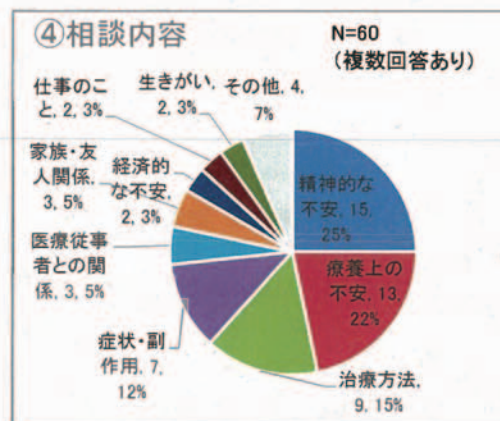
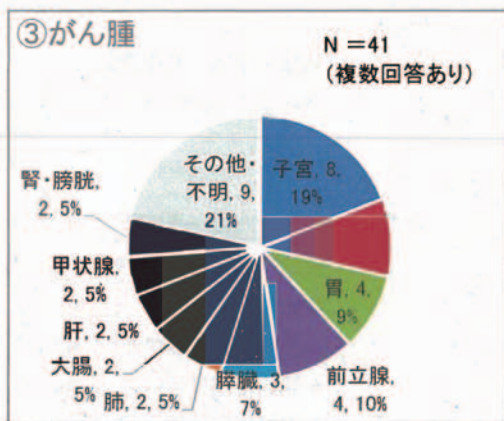
〈 広報 〉

- ・市報 ・有線 ・院内掲示 ・院内モニター
- ・新聞 ・イベント時にチラシ配布 ・島根県
や開催病院ホームページや病院ブログ掲
載 ・医療者から紹介
- ・ティッシュ配布 ・駅通路への掲示など

2. ピアサポーター相談記録より

(1) 主な相談者について





(2)ピアサポーターの対応

- ・傾聴、共感
- ・情報提供(がん相談支援センター、サロン、次回相談会開催日の案内など)
- ・相談員との連携

3. 相談者アンケートより

- ・話をしてよかった
- ・心が落ち着き安心した
- ・ちょっとした話をきいてもらえるのが今はほっとします
- ・元気をもらった
- ・来れるときには利用したい

4. 相談会を振り返って ～ピアサポーターの感想(相談記録・振り返りの会より)

- ・広報がもっと必要ではないか(相談会利用者がいない)
- ・私が相談者の話された治療法をしていなくて戸惑ったが、サブの人がその治療をしていたので話を安心して継続することができた。
- ・すでに病院の相談員さんにつながっているときき、安心して話を聴くことができた。

5. 平成 30 年度の試み

- ・ピアサポーターフォローアップ研修会の参加対象者を拡大
- ・ピアサポーター有志によるピアサポーター活動を考える会の発足

沖縄県地域統括相談支援センター 概要

名 称：沖縄県地域統括相談支援センター

設 立 日：平成 23 年（2011 年）10 月 1 日

予 算：沖縄県がん医療連携体制推進事業（地域統括相談支援センター設置事業）
国庫補助あり 補助率 1/2（厚生労働省健康局都道府県がん対策推進事業）

所 在 地：〒903-0215 西原町字上原 207 番地 琉球大学医学部附属病院 3 階

目 的：（１）がん相談支援センターと連携した切れ目のない相談支援体制の推進
（２）がんピア・サポートの実施及びがんピア・サポーターの育成

人員構成：センター長（兼任）

がんピア・サポーター 4 名（招聘看護師 3 名、ボランティア 1 名）

事務員 1 名

事業内容：

1.がんピア・サポーター（がん体験者）による相談対応

ピア・サポーターが患者さんやそのご家族が抱えている不安や心配ごとについて話を聞いたり、自身の経験に基づいたアドバイスをするなど、がんに関する相談業務（対面・電話相談）を行っている。予約については直接来所、または電話やメールでも受け付けている（空いてる場合は直ぐに対応も可能）。

- （１）来所 琉球大学医学部附属病院 3 階（がんピアサポート相談室）
がんピア・サポーター在室時間 火曜日 13 時～16 時
木曜日 10 時～14 時
水・金曜日 13 時～17 時

（２）TEL 098-942-3407 FAX 098-942-3408

（３）メールアドレス info@gansoudan-okinawa.jp
ホームページ <http://www.gansoudan-okinawa.jp>

2.がんピアサロン

- （１）がんによって不安を感じて生活される方や、そのご家族が集う場として「がんピアサロン」を院外で年 2 回開催。同じような立場の人による支援は、気持ちの共有や現実的なアドバイスなど様々な利点がある。「誰に何を相談していいかわからない」「頭の中が真っ白…」「家族ががんと診断され、どう接していいかわからない」「同じ病気の人の話を聞いてみたい」そんな想いを自由に話し、聞く場である。
- （２）がんピアキャラバン（年 1 回開催／離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、地域のがん関係者等との協働によりがん患者支援を行うもの）

(3) 県内各拠点病院院内がん患者サロン（年6回程度）

＊開催場所

- ・県庁1階ロビー ・石垣市立図書館 ・宮古島市働く女性の家ゆいみなあ
- ・公立久米島病院 ・イオンモール沖縄ライカム他

3.がんピア・サポーターの人材育成

(1) がんピア・サポーター養成講座の開催

平成23年度（2011年度）からがん体験者、そのご家族やご遺族を対象に、がんピア・サポーターを養成するための講座を開催（期間2～3日）している。これまでに8回開催し、すべての課程を修了した方は80名。それぞれがピア・サポーターとして様々な患者会や各拠点病院内患者サロン等で活動している。

＊受講条件

- ①がん患者、がん患者のご家族・ご遺族。
- ②最終治療後2年以上が経過して、現在病状が安定されている方。
- ③全日程参加できる方。
- ④なおかつ当センターの登録がんピア・サポーターとなって活動できる方。

＊講座内容

- ①6講義（「ピア・サポートとは」「がんの基礎知識」他）
- ②ワークショップ（体験を語る、ロールプレイの振り返り）
- ③ロールプレイ（模擬相談演習）

(2) がんピア・サポーターフォローアップ研修会の開催

養成講座を修了された方、また以前より日常的に患者会などでピア・サポート活動をしている方を対象に開催（期間1日）している。研修では養成講座で学んだ基礎をもう一度復習し、さらにステップアップすることが目的。

4.がんに関する情報提供

各種がんに関する情報を臓器別に冊子にして必要な方へ提供している。また当センター主催のイベントの際は情報コーナーを設け、がん情報が自由に手に取れるようになっている。

＊具体的には

- (1) NCCN ガイドライン（NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology™）日本語版
- (2) 米国国立がん研究所が配信している包括的がん情報データベース PDQ®（Physician Data Query）の日本語版
- (3) 国立がん研究センターがん対策情報センターで発行している「がんの冊子」を印刷、冊子化して手渡している。

沖縄県地域統括相談支援センター(院内設置型)

沖縄県がん医療連携体制推進事業（地域統括相談支援センター設置事業）において、
2011年10月1日県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院内に設立。

- 事業実施目的**
- ・がん相談支援センターと連携した切れ目のない相談支援体制の推進
 - ・がんピア・サポートの実施およびがんピア・サポーターの育成

沖縄県ピア・サポート事業

琉球大学医学部附属病院への委託

沖縄県地域統括相談支援センター

センター長（がんセンター長兼任）事務員1名
ピア・サポーター（招聘看護師3名、ボランティア1名）

*がんセンターが協力・後方支援

相談対応、研修・サロン運営、サポーター育成、情報提供など



活動の場として



県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院
地域がん診療病院、その他の医療機関
サロン各開催場所（県庁1階ロビー、石垣市立図書館、
宮古島市働く女性の家ゆいみなあ、ゆがふいんおきなわ、
イオンモール沖縄ライカムなど）

ピア・サポート事業3つの柱

患者や家族が
安心して利用できる

ピアサポーターが
安心して活動できる

専門職や行政関係者が
安心して紹介できる

「体験を共有し、ともに考える」

患者・家族、医療者からも
信頼され利用される
ピアサポート活動の場を創る

- *がんピア・サポーターの育成として
- ・養成講座（必要なスキルを学ぶ）
 - ・フォローアップ研修会（スキルアップを図る）

沖縄県地域統括相談支援センター登録がんピア・サポーター

1. 目的

がんピア・サポーターの活動を支援し、よりよい活動と質の向上を目的としています。
無理のない範囲で、持続的な活動をお願いします。

2. 登録資格

当センターが主催するがんピア・サポーター養成講座を全日程修了することとします。

3. 活動内容

- (1) 当センター主催のイベント等でのピア・サポート活動（準備・片付けを含む）
- (2) 各医療施設や患者会でのピア・サポート活動
- (3) 普及啓発活動やPR活動
- (4) その他

4. 今年度の活動内容

(1) がんピアサロン（年2回）

語り合うことで不安や気持ちを分かち合い、情報を交換しながら病気に対する不安軽減につなげる。

- ①令和元年 7月27日（土）ちゃたんニライセンターカナイホール（ミニ音楽会）
／参加者 16名
- ②令和元年 11月9日（土）浦添でだこ広場（リレー・フォー・ライフ内）
／参加者 11名

(2) がんピアキャラバン（年1回）

地域のがん関係者等との協働により、がん患者支援を行う。

- ①令和元年 12月20日（金）北部地区医師会病院／参加者 17名
- ②令和2年 2月21日（金）公立久米島病院開催予定

(3) 県内各拠点病院 院内患者サロン（年6回程度）拠点病院より依頼 ピア・サポーター活動の場の創出を図る。

那覇市立病院 那覇がん患者ゆんたく会／県立中部病院 中部地区ゆんたく会

- ①平成31年 4月23日（火）県立中部病院／参加者 16名
- ②令和元年 5月15日（水）那覇市立病院／参加者 13名
- ③令和元年 7月16日（火）県立中部病院／参加者 16名
- ④令和元年 8月21日（水）那覇市立病院／参加者 11名

⑤令和元年 9月26日(木) 県立中部病院／参加者 24名

⑥令和元年 11月28日(木) 県立中部病院／参加者 21名

⑦令和2年 1月23日(木) 県立中部病院参加予定

⑧令和2年 3月18日(水) 那覇市立病院参加予定

(4) がんピアサポーターフォローアップ研修会／交流会(年1回)

ピアサポーター間の親交を深めるだけでなく、活動意欲の維持、共有を図る。

①令和元年6月8日(土) 宮古島市働く女性の家 ゆいみなあ／参加者 17名

(5) その他

ピアサポート事業を広く周知するための普及活動として、医療機関への説明会を行う。

①令和元年12月20日(金) 北部看護学校／参加者 学生 250名、教職員 29名

5. 前年度の活動実績

(1) がんピアサロン

①平成30年11月10日(土) 浦添市てだこ広場(リレー・フォー・ライフ内)
／参加者 8名

②平成31年 1月20日(日) 琉大病院 管理棟和室(ヨガ体験)／参加者 9名

(2) がんピアキャラバン

①平成30年10月6日(土) 石垣市立図書館／参加者 21名

(3) 県内各拠点病院 院内患者サロン

那覇市立病院 那覇がん患者ゆんたく会(計6回参加)

①平成30年 5月16日(水)／参加者 22名

②平成30年 6月27日(水)／参加者 15名

③平成30年 7月18日(水)／参加者 12名

④平成30年 8月15日(水)／参加者 12名

⑤平成30年10月17日(水)／参加者 9名

⑥平成31年 2月20日(水)／参加者 10名

(4) がんピアサポーターフォローアップ研修会／交流会

①平成30年12月2日(日) 琉大病院 大学院セミナー室／参加者 25名

令和元年度 沖縄県がんピアサポーター養成講座 プログラム

2019年10月19日（土）1日目

開始	終了	所要 時間(分)	ピア 全体進行：野田真由美様	責任者：増田昌人
10:00	10:15	15	開講のあいさつ オリエンテーション	(増田昌人)
10:15	11:35	80	講義「ピアサポートとは」	(NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美様)
11:35	11:40	05	(休憩)	
11:40	12:30	50	講義「がんの基礎知識①」	(増田昌人)
12:30	13:20	50	(昼休憩)	
13:20	14:20	60	講義「緩和医療について」	(国立病院機構沖縄病院副院長 大滝勤子先生)
14:20	14:30	10	休憩	
14:30	15:30	60	講義「精神腫瘍学」	(沖縄県立精神医療センター心療内科副部長 川田聡先生)
15:30	15:40	10	休憩	
15:40	16:40	60	ワークショップ 体験を語る	(NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美様)
16:40	16:55	15	アンケート記入 終わりのあいさつ	(増田昌人)

2019年10月20日（日）2日目

開始 時間	終了 時間	所要 時間(分)	ピア 全体進行：野田真由美様	責任者：増田昌人
9:55	10:05	10	始めのあいさつ オリエンテーション	(増田昌人)
10:05	11:00	55	講義「がんの基礎知識②」	(増田昌人)
11:00	11:10	10	休憩	
11:10	12:10	60	講義「より良いコミュニケーションのために」	(NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美様)
12:10	13:20	70	(昼休憩)	
13:20	15:00	100	ロールプレいの講義・実演 ロールプレイ① ワークショップ ロールプレイ①の振り返り	(NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美様)
15:00	15:10	10	休憩	
15:10	16:30	80	ロールプレイ② ワークショップ ロールプレイ②の振り返り	(NPO法人支えあう会「α」副理事長 野田真由美様)
16:30	16:50	20	アンケート記入 修了証授与・写真撮影 閉講のあいさつ	(増田昌人)

がんピアサポーター養成講座開催状況と参加人数

R1.10/31現在

年 度	日 時	講座名	参加者	うち離島参加者
平成23年度	H23.11/16 H23.11/20 H23.12/ 4	第1回 がんピアサポーター養成基礎講座	7	2（宮古）
	H24.1/22 H24.1/29 H24.2/ 5	第2回 がんピアサポーター養成基礎講座	9	0
平成24年度	H24.10/28 H24.11/11 H24.11/23	がんピアサポート初級編（試行版）研修会	14	1（宮古）
平成25年度	H25.10/13 H25.10/14	がんピアサポート研修会 ～これからピアサポートを始める人へ	14	6（石垣）
平成26年度	開催なし			
平成27年度	開催なし			
平成28年度	H28. 9/10 H28.10/ 1 H28.10/29	平成28年度 がんピアサポーター養成講座	16	2（石垣1・ 久米島1）
平成29年度	H29.7/22 H29.8/19 H29.9/ 9	平成29年度 がんピアサポーター養成講座 （宮古島市開催）	6	6（宮古）
平成30年度	H31.2/2～3	平成30年度 がんピアサポーター養成講座	4	0
令和元年度	R1.10/19～20	令和元年度 がんピアサポーター養成講座	10	0
		合 計	80	17

* 参加人数は全日程修了した人数を表記。「離島参加者」も「全体の参加者」に含まれる。

* H29年度の参加者は7名であるが、2度目の受講者は人数へ含んでいない。

がんピアサポーターフォローアップ研修会と参加人数

R元.7.31現在

年 度	日 時	講座名	参加者	うち離島参加者
平成24年度	H24.7.29	平成24年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会	18	2 (宮古)
平成25年度	H25.9.1	平成25年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会	32	1 (宮古)
平成26年度	H26.7.27	がんサロン研修会2014	23	6 (宮古3) (石垣3)
平成27年度	H27.10.10	平成27年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会 「模擬相談演習」	16	6 (宮古2) (石垣4)
平成30年度	H30.12.2	平成30年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会	19	4 (石垣)
令和元年度	R元.6.8	令和元年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会 (宮古島市開催)	17	3 (石垣)
		合 計	125	22

* 令和元年度は相談員4名を含む。

運営側（地域統括）の現状／要望等

1. ピア・サポート事業の認知度の低さ

- ・ピア・サポートはがん患者、その家族やご遺族の不安軽減だけでなく、医療者の負担軽減にも繋がるはずだが、把握しているのは医療ソーシャルワーカーや緩和ケア認定看護師のみで、他の医療者から理解を得られることが少ない。背景として「外来や病棟で看護師が十分対応している」「がんについての知識も経験も十分」という自負だけでなく、医療者のピア・サポートに対する無関心があるのでは。ピア・サポーターの役割が違うということを伝えにくい、他のサポートが受け入れてもらいにくい現状がある。後日まとめて、医療者に対してのフィードバック（匿名での結果報告）をしてもいいのではないかな。
- ・琉大病院でいえば、院内での対面・電話相談による相談室対応について、病棟での対応に比べ少ない（対面・電話2割、病棟8割）ことも認知度の低さが影響しているのではないかな。認知度を上げるために、新聞掲載やホームページ、チラシやポスターだけでなく、院内では師長会での案内など、短時間でも構わないのでスタッフへの周知と協力要請を根気強くやっていくしかない。

2. ピア・サポーターの質の向上

- ・イベントなど、ピア・サポート対応後はその都度振り返りを行ってはいいるが、相談室対応も含め事案を基に定期的にミーティングを行うなどしピア・サポーター自身のケアにも努めたい。
- ・ピア・サポーターの人員確保も必要。

3. がんピア・サポーター養成講座修了生の活躍、提供の場が少ない

- ・他の医療機関においてもピア・サポートを理解していない、ピア・サポートを受け入れる体制が整っていないなど、ピア・サポーターの活動の場が限られている。

4. がんピア・サポーター養成講座参加者のリクルート

- ・各患者会ですでに活躍している方でも、普段の相談対応とピア・サポートは違うことから、特にベテランの方に受講してほしい。

5. 小児・AYA 世代へのピア・サポート

6. 小児・AYA 世代のご家族へのピア・サポート

7. 希少がんへのピア・サポート

令和元年度がんピアサポート医療従事者向け研修会 及び検討会

日時：令和元年 10 月 23 日（水）

13 時 30 分～15 時 30 分

場所：山口県政資料館 第 1 会議室

- 13：30 開会
- 13：30 講義「ピアサポートについて、委託事業について」
講師 国立がん研究センター先端医療開発センター
精神腫瘍学開発分野長 小川 朝生 先生
- 13：50 講義「医療者に求めること、体制の構築」
講師 国立がん研究センターがん対策情報センター
センター長 若尾 文彦 先生
- 14：10 各拠点病院でのサロン運営状況・課題の共有
- 14：40 課題に対する提案、質疑応答
- 15：30 閉会



山口県内のがんサロン

山口大学医学部附属病院

YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学医学部附属病院 がん患者サロン「れんげそう」

れんげそうの花言葉
「こころがやわらぐ」



YAMAGUCHI UNIVERSITY

■開催状況（H22.2～運営）

- 第1・第3金曜日 13時～14時30分
- 第2・第4水曜日 13時～14時30分

■参加状況

- 平成28年度 124名（新規48名）
- 平成29年度 106名（新規29名）
- 平成30年度 132名（新規32名）

■広報

- ホームページ、入院パンフレット、ポスター
- がん患者サロンパンフレット、当日院内放送

がんに関する話をされる方、趣味のお話をされる方、
お話を聞かれる方、場ごし方は様々です。
（参加者の許可を得て掲載しています）



サロンの開催日以外は患者相談室として利用しています。

YAMAGUCHI UNIVERSITY

サロンの開催日はドアを開放し、プライバシーが守られるように
パーテーションを設置して、入浴しやすい雰囲気作りをしています。



YAMAGUCHI UNIVERSITY

■がん患者サロンの運営状況

- がん相談員1名が対応
- * 第3金曜日はコーディネーター1名参加

■がん患者サロン勉強会開催

- 年に2～4回開催

■がん患者サロンの課題

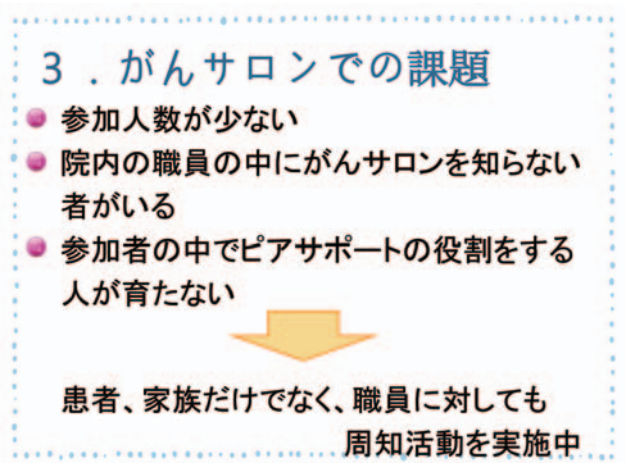
- コーディネーター不足
- がん患者が参加しやすい開催日の対応
- 女性特有がん疾患患者の参加への対応
- 継続参加しているがん患者の高齢化

岩国医療センター

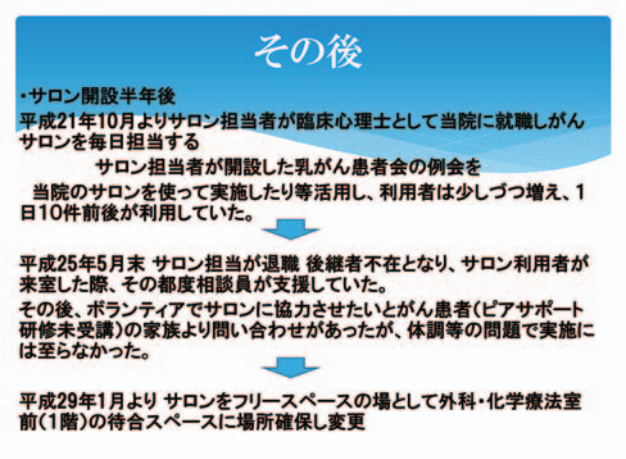
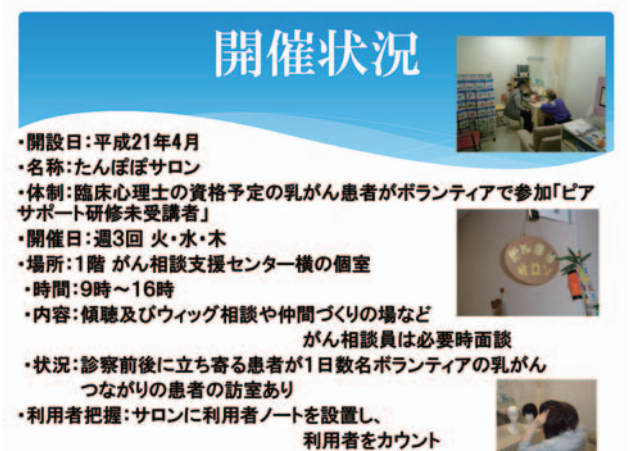
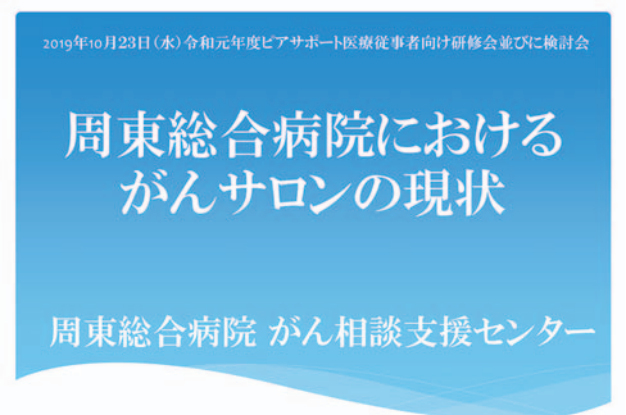
岩国医療センターがんサロン 「ほっとサロン虹」 のご紹介

2019年10月23日
がんピアサポート医療従事者向け研修会及び検討会

国立病院機構 岩国医療センター
上田佳奈



周東総合病院



周東総合病院における がんサロンの課題

- ・ピアサポーターの確保が難しい
(院内ボランティアを募集しても集まらない状況)
- ・がんサロンにピアサポーターを配置できていない
- ・地域で唯一の総合病院にて、知り合い遭遇率が高く、他人に病気を知られたくないと思っている人が多いため、がんサロンより個別での仲間づくりや医療者への相談を希望する人が多い印象
- ・がんサロンでの講和を企画するべきか？島根の理想を追うべきか？
- ・ピアサポーター・がんサロンのPR不足

18

徳山中央病院

1 開催状況

・がんサロン「とことこ」

毎月第3木曜日 14:00～15:00

・がんサロン「とことこ女子会」

毎月第4金曜日 14:00～15:00

※『とことこ』は徳山中央病院のと・・・「ここにおいでよ」の・・・です。

2 運営状況

- ・ピアサポートのような役割をしている人 : いる
- ・3名の常連の患者さんが必ず参加し、新規参加者の方と話をしてもらうようにお願いしている。

22

3 がんサロンでの課題

<がんサロンの課題>

- ・サロンが月に1回と少ない ⇒ 週に1回の開催を検討中

<ピアサポート活動の課題>

- ・支援の情報提供の仕方
- ・がんサロンでのみ活動とするか(相談場所の確保)

山口県立総合医療センター

きららサロン開催状況

- 平成21年より開始。今年で10周年。
- 毎週火・金曜日の10時30分から15時まで、ボランティアスタッフが対応（常時2～3名で対応）
- 年3回程度、院内職員が講師となり、患者・家族向けのミニ講座を開催



きららサロン運営状況・支援体制

- ・月1回運営会議開催
(がん相談支援センター長、総務課長、師長、認定看護師
ボランティアスタッフ、がん相談支援センター)
- ・2か月に1回ボランティアスタッフ研修会
ボランティアスタッフ自身が対応に困った内容など
- ・サロンのお茶・お菓子の購入
- ・図書購入
- ・きららサロンニュースの発行(年3回程度)



きららサロンでの課題

- ボランティアスタッフの自主性をどこまで許容するか
→ 病院の管理体制の中でどこまで主体性をもってやってもらうか
- ボランティアスタッフの新規スタッフの獲得
- ボランティアスタッフへの継続的な研修

済生会下関総合病院

がんサロン ふくふくサロン

済生会下関総合病院
がん支援センター 前川 優子

ふくふくサロンの開催状況

当院のがんサロンは、ふくふくサロンと言います。
“ふくふく”とは、幸せの“福”と山口の名産“ふく（ふぐ）”でふくふくサロンとした

開催日時：毎月 第2水曜日
時 間：13:00受付～15:00
場 所：2階会議室
費 用：無料（駐車料金含む）
対 象：がん患者（通院、入院、他院問わず）
家族、その他支援者
イベント：年2回講師を呼んで講演会



サバイバーの夫婦が、みんなを元気づけた
いと、日本舞踊を踊って下さいました

平成30年度がんサロン参加人数



運営状況

9月サロンのテーマ (治療してきた苦労話、どう乗り越えたか)

- ▶ 〈患者の意見〉
- ▶ ・がんの告知をされた時は辛かったが、能天気な生きるときめたら、楽になった
- ▶ ・ステージIVと言われ、死刑判決されパニックになった。しかし、つらいときはある
- ▶ ・が。日々悲しみの中にいることはないことが、みんなの話を聞いてわかった
- ▶ ・一日をどう生きるか考える。笑って、前向きに人を喜ばす
- ▶ ・前向きに笑って過ごすことが大切と思った。家族仲良く暮らす
- ▶ ・みんな辛い時を乗り越えて、頑張っている、私も治療を頑張る
- ▶ ・がん体験を聞くと前向きになる

ふくふくサロンの課題

- ▶ 自主的に会が進行できるように
ピアサポーターの育成
- ▶ 患者の治療過程によって、どの
ように働きかけていいか悩む

長門総合病院

長門総合病院

地域医療福祉連携室

MSW 田村和彦

当院の体制

- ▶ ピアサポーター（国の研修プログラムに準拠した研修の修了者）の有無なし
- ▶ ピアサポーターの在り体制の有無なし
- ▶ 活動
 - ・あいの会と協力して活動。
 - ・毎年当院で開催するJAフェアにおいて地域住民を対象にがんについての啓発活動を行っている。
- ▶ 課題
 - あいの会の活動の協力は外科病棟の看護師、外来化学療法室の看護師が対応。
 - 地域医療福祉連携室には担当者がいないため、活動内容等も把握できていなかった。

当院のがんサロンについて「あいの会」

平成15年3月に山口県北浦の紺碧の海に負けない深さで、女性のがん患者同士が愛情や繋がりを持って生きていきたいと結成した女性がん患者会。

1. 自分のために、大切な家族のために、がんという病気について正しい知識を持ち、がんに対する偏見をなくし、理解を深める。
 2. 自分自身が定期検診を継続して受け、異常の早期発見に努める。
 3. 唯一自分で見つけることができる乳がんの自己検診の普及を図る。
 4. 「抗がん剤治療」をされている女性のためのウィッグの貸し出し。
- 等々の活動を行っている。



- ▶ 2か月に1回（偶数月の第3土曜日の午後2時～）の勉強会への参加
- ▶ 医師・専門職による講演の協力
- ▶ 毎年12月に当院小児科外来前のロビーでクリスマスコンサートの開催協力



啓発活動

- ▶ 当院緩和ケアチームと協力し毎年当院で行われるJAフェアにおいて地域住民を対象にがんについての啓発活動を行っている。

2014 緩和ケア普及啓発シンポジウム

山口県立大学理事長：江里健輔先生
当院名誉院長：藤井康宏先生
すえなが内科在宅診療所：末永和之先生
訪問看護おかふじ：岡藤美智子訪問看護師
「これからの在宅医療について
～がんといわれたその日から～」



2017 緩和ケア特別講演
桐生のぼるさん
「健康で楽しく生きる
～話そう・歌おう・声を出そう！～」



2015 緩和ケア特別講演

木山裕策さん
「がんに向き合って～叶えた夢home～」



2018 緩和ケア特別講演
山中光茂先生
「当たり前の幸せを最期の瞬間まで・・・」



2016 緩和ケア特別講演

天野内科胃腸科医院 院長 天野秀雄先生
「長門市の在宅医療と看取りの現状」
大分県勝光寺住職 南えしろう先生
「楽しく老いる、老いから学ぶ
～自分らしく生きるために～」



都志見病院

患者サロン だいたいのご案内

がんと伝えられた瞬間から患者さんとその御家族は、心の悩みや今後のことについての不安を抱えておられるのではないかとお察しします。同じような苦悩を抱えている方が同じ場で過ごし、情報の交換等を通してお互いの励ましになることを目的に、患者サロンを開催いたします。がん患者さんやご家族の皆さまが、集まれる場としてご利用いただけたらと思いますので、参加してみませんか。

開催日：毎月2回
第1火曜日・第3木曜日
14:00～16:00

場所：東館2階 待合ロビー

対象者：がん患者さんとご家族

問合せ：地域連携室
平日8:30～17:00 TEL 0838-22-2878
FAX 0838-22-2886

都志見病院 地域連携室

抱えている方が同じ場で過ごし、情報の交換等を通してお互いの励ましの場になることを目的に、患者サロンを開催いたします。がん患者さんやご家族の皆さまが、集まれる場としてご利用いただけたらと思いますので、参加してみませんか。

開催日：毎月 第1火曜日・第3木曜日 14:00～16:00

開催場所：東館2階 待合ロビー

対象者：がん患者さんとご家族

平成31年度開催予定日	内容	学習会講師 講師
第1回 4月 18日 (水)	学習会と交流会	気功 ボランティアスタッフ 三好さん
第2回 5月 7日 (火)	学習会と交流会	緩和ケアについて 地部緩和ケア専従看護師
第3回 5月 16日 (水)	交流会	
第4回 6月		出前講座に参加
第5回 6月 20日 (水)	学習会と交流会	熱中症の予防と対策 ヤクルト管理栄養士
第6回 7月 18日 (水)	学習会と交流会	福祉用具について ホームケア
第7回 7月 25日 (月)	学習会と交流会	料理教室 免疫カアップ 当院管理栄養士
第8回 8月 6日 (火)	交流会	水枕カバー作り
第9回 8月 24日 (日)		24時間TVチャレジャーに参加
第10回 9月 19日 (木)	学習会と交流会	緩和ケアに用いる薬剤について 当院薬剤師
第11回 10月		リレーフォーライフジャパンに参加
第12回 10月 12日 (土)	交流会	長門あいの会との交流会
第13回 11月 9日 (土)		ふるさと祭り広域活動
第14回 11月 21日 (木)	学習会と交流会	医療費について 当院社会福祉士
第15回 12月 3日 (火)	交流会	
第16回 12月 19日 (水)	交流会	レクレーション
第17回 1月 16日 (火)	交流会	
第18回 2月 4日 (火)	学習会と交流会	検診について 当院健診部
第19回 2月 20日 (水)	交流会	次年度の計画 立案
第20回 3月 19日 (水)	交流会	1年間のまとめ意見交換会



今後の課題

新規参加者の確保

ボランティアスタッフの継続した教育

都志見新聞や出前講座でサロンの活動を周知していますが、新規の方の参加がなかなかない状況です。メンバーが固定化されているため結束力は高いのですが、少々マンネリ化しているのも否めないです。

また、ピアサポートの研修など立ち上げの時に勉強したものの継続した研修ができていません。スタッフのレベル向上のためにも改めて学ぶ機会が必要と考えています。



山口宇部医療センター

R元年10月23日(水)

「サロンあさひ」の現状



独立行政法人国立病院機構
山口宇部医療センター
草野 雅子

開催状況

開催日

第2、第4の木曜日

14時から15時

がんサロン運営状況

- ◆ティータイム(茶話会)
- ◆気分転換の簡単ストレッチ
- ◆治療中の食事の美味しい摂り方の説明(栄養士)と試食会(年4回)
- ◆お笑いや抗がん剤DVDの視聴
- ◆質問コーナー(放射線医師、薬剤師、検査技師、MSW他)
- ◆お花見(お抹茶会) 等

がんサロンの課題

- ◆入院中に参加されても、退院後自宅が遠方で外来通院中での参加が難しい。
- ◆当院は肺がん、悪性胸膜中皮腫の患者が殆どで予後が厳しく、リピーターになりにくい。

